

津島分校人権だより

津島分校人権委員会

# ひゅーまんらいつ

令和3年第5号



## 日本一静かなカフェ

### それは日本一にぎやかに言葉をかわし合うあたたかい居場所

東京都の JR 国立駅にあるスターバックス nonowa 国立店は「日本一静かなカフェ」と呼ばれています。店に入っても店員さんの「いらっしゃいませ」という声は聞こえてきません。なぜなら、この店は聴覚に障がいがあるスタッフで運営されている店だからです。店に入ったお客さんは、ジェスチャーや指さしで注文できるメニューボード、筆談などを使って商品を注文していきます。中には店員さんに手話を教えてもらって注文する人もいます。

この店がオープンしたのはスタッフのリーダーである大塚絵梨（おおつかえり）さんの熱意からでした。大塚さんはろう学校を卒業後、学校から紹介された企業で事務職として働いていました。しかし、本当は接客業に就くことを希望していた大塚さんは、聴覚に障がいがある人に接客は無理だという周囲の声に逆らって接客業に就くチャンスを探していました。そこで、スターバックスが「誰もが受け入れられ、尊重され、認められる、思いやりと共生の文化を創造すること」を企業理念としてグローバル人権宣言に掲げていることに感銘してアルバイトに応募し、聴覚に障がいがあっても接客できると証明するために努力を続け、2年後に正社員になりました。そして、聴覚に障がいがあるスタッフで運営する店舗の実現を会社に熱望し、会社も企業理念に合致すると賛成して仲間たちと努力を重ねた後、2020年6月に開店にこぎ着けたのでした。こうして現在では、聴覚に障がいのある人たちの『新たな挑戦の場』として仲間たちと店舗を運営しています。

さて、多くの障がいのある人たちが、その障がいのために何かを諦めてしまうという現状は多く見られます。障がいがあるから無理だという私たちや社会の思い込みが、実は「障がい」となっているのかもしれない。カフェのスタッフの方は、この仕事をするようになって「人と人とのつながりがあり世界が明るくなった」と語っています。また、お客様にとっても心安らぐあたたかい居場所にもなっています。

「だれもが個性を認め合い自分らしくいられるカフェ」スターバックス nonowa 国立店は日本一静かな場所ですが、そこは、これまで人を隔てていた壁を乗り越えつなごりのある、そして「誰もが受け入れられ、尊重され、認め合える」日本一にぎやかに言葉をかわしあうあたたかい場所となっています。私たちもそんな居場所を津島分校に創っていきましょう。

笑顔で「ありがとう」



手話バージョンスターバックス



スタッフの方々

宇和島地区生徒人権委員会交流学習会 参加報告

令和3年8月1日（日）番城福祉会館 午後13時～16時

○ 1年生の人権委員がこの研修に参加した感想を報告します。

○ 研修会内容

西予市宇和町タンポポ学習会の方々を講師に迎え、結婚差別に関する課題図書を読んだ後、班別で話し合いを実施。

課題図書「小春日和」（中学校人権・同和教育副教材「炎」より）

【あらすじ】

本来2人の意思だけで決めるべき結婚。主人公崇司は、悩んだ末に自分が、被差別部落出身であることを恋人、裕美に伝えます。裕美は「そんなの関係ない。」という一言で崇司を安心させましたが、3年後、2人が結婚を決めた際に、いつもは優しくかった裕美の両親が「娘を被差別部落に嫁がせるわけにはいかない。」と反対をしました。そんな中、学校で同和問題を学習していた裕美の中学生の妹、康代が2人の結婚を応援してくれたことにより、差別を乗り越え2人は結婚することができました。その後崇は娘にも、恵まれ幸せな結婚生活を送ります。

【人権委員生徒感想】

私は、学校の授業で部落差別については何度も勉強してきましたが、詳しく知っていたわけではなく大体のことくらいしかわかっていませんでした。今回、この宇和島地区生徒人権委員会交流学習会では、実際に様々な方と話し、結婚差別についての様々な考え方や意見を聞くことができとても勉強になりました。

今回の交流学習会では、私の班では事前にいただいた結婚差別についての資料「小春日和」を全員で読み、このお話の登場人物の気持ちになって一人一役で考え、自分の意見を出し、話し合うことをしました。私が考えていたことと同じ意見の人もいれば、また違う考えの意見の人もいて深く考えることができたと感じました。

そして「私自身は被差別部落出身ではないからこの問題とは関係ない。」という考え方は間違っているなとも思いました。部落出身ではないからと言って差別に目を向けることなく知らないふりをするのは間違っているとも感じました。このことについては、一人ひとりがしっかりと考えなければならないし、お互いに思いやることが大切だということも今回学ぶことができました。

今回の学習会は、半日という短い時間ではありましたが、そのわずかな時間の中で自分自身がしっかりと考え意見を持つということをしなければならないと思いました。そして今まで学校の授業でなんとなく部落差別について勉強してきた私ですが、自分も考えを改め、普段の生活から見直していきたいと思いました。

（1年生人権委員）

【今回のテーマについてあなたはどのような事を感じましたか？】


（ ）年（ ）組（ ）番 氏名（ ）